

入学試験要項・学校説明会等予定

入学試験要項

	中学校	高等学校
入学試験日	令和6年 1月20日(土)	令和6年 1月21日(日)
募集人員	160名	40名
受験資格	令和6年3月小学校卒業見込の男女 (但し、女子は自宅通学可能な者に限る)	令和6年3月中学校卒業見込の男女 ^(※) または令和5年3月中学校卒業の男女 (但し、女子は自宅通学可能な者に限る)
入学試験科目	国語・算数(各60分、150点) 合計500点 社会・理科(各45分、100点)	国語・数学・英語(各60分、100点) 合計500点 社会・理科(各50分、100点)
出願期間	令和5年12月1日(金)～令和5年12月21日(木)	
出願手続	インターネットによる出願 ◎入学検定料20,000円 詳細は「生徒募集要項」をご覧ください。	
合格発表	令和6年1月23日(火)	令和6年1月24日(水)
	合否の結果はweb上で発表します。	
入学手続	令和6年1月25日(木)～1月30日(火)必着	
合格者招集	令和6年2月3日(土)	

(※中学校卒業程度認定試験を受験し、合格しているものを含む。詳しくは文部科学省のホームページを参照してください。)

生徒募集要項 請求方法

生徒募集要項は令和5年8月より配布する予定です(8月以降にご請求ください)。
本校事務室窓口にて直接受け取ることができます。また、郵送希望の場合は、封筒の表に「中学校(または高等学校)募集要項請求」と朱書きし、自分の宛名を記載した返信用封筒(サイズは角2でA4版が入るものに140円切手を貼付)と連絡先電話番号を明記したメモを同封して本校事務室宛にお申込みください。

学校説明会等 ※各催しについて、私学展以外は事前予約が必要です。

開催日・時間	催し・会場	開催日・時間	催し・会場
6月17日(土) 14:00～15:45(受付13:00)	学校説明会(北九州) 小倉興産KMMビル 4階大会議室 北九州市小倉北区浅野2-14-1 TEL 093-511-4101	8月19日(土)・ 20日(日) 10:00～17:00	私学展 エルガーラホール(8階大ホール、7階中ホール) 福岡市中央区天神1-4-2 TEL 092-713-7281
6月24日(土) 14:00～15:45(受付13:00)	学校説明会(福岡) アクロス福岡 地下2階イベントホール 福岡市中央区天神1-1-1 TEL 092-725-9111	9月30日(土) 10:00～12:30(受付9:15)	学校説明会(本校) 本校体育館 久留米市野中町20-2 TEL 0942-44-2222
7月8日(土) 14:00～15:45(受付13:00)	学校説明会(熊本) ホテル熊本テルサ 3階「たい樹」 熊本市中央区水前寺公園28-51 TEL 096-387-7777		



WEB OPEN SCHOOL 公開中!

本校のホームページにて、学校生活がわかる動画等を公開しています。

URL <https://kurume-fusetsu.ed.jp/lp/webos/>



学校法人 久留米大学
久留米大学附設中学校・高等学校



久留米大学附設中学校 久留米大学附設高等学校

2024年度(令和6年度)
学校案内



優れた学力と高い人格を培い、 世界の未来を担う人間へ

本校は「真に国家社会に貢献しようとする、為他の気概をもった誠実・努力の人物を育成する」という建学精神の下、誇るべき人格の完成を目指す「全人教育」を教育の使命として定めながら、「豊かな人間性と優れた学力とを備えた人間を育成すること」を教育目標としています。

この建学精神及び教育目標の下、在校生は将来の我が国ならびに国際社会を指導する資質と能力を向上させ、優れた学力と高い徳性を身につけることに努めています。

向学心と向上心旺盛な諸君が本校を志望されることを期待しています。

学校長 町田 健

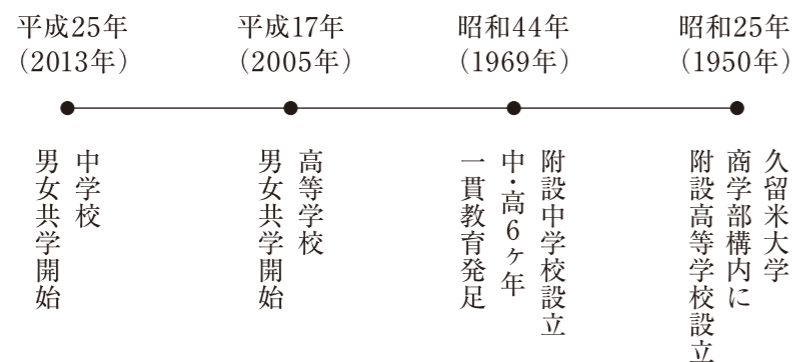


本校教育のねがい

- 国法を基本として教育を行い、ひとの世の幸せと喜びのために力を尽くすべきことを人生の真理とする、誠実に志気旺盛な人物を育成したい。
- 全人教育を基調とし、生徒の個性・能力を尊重して、自主性・創造性を培い、特にその人生に大きな意義を持つ青年期における志望の確立に力をつくしたい。
- 師弟・学友、共に学び、謙虚で向学心篤く、大学において、更に将来に亘って大いに学びうる人格の基礎を培いたい。
- 共に生きる人びとと互いに協調して、労苦を共にしうる、豊かな心情、闊達な気性を育てたい。
- 柔軟でしかも強靱な気力と体力をもち、環境の変化にも幅広い適応力をもつ身体と精神を鍛え上げたい。



沿革



久留米大学
附設中学校 校歌

大石 亀次郎 作詞
数 文人 作曲

一、高良山下の 学園に
万柔の桜 咲き そろい
若き 血潮の 高鳴るを
見ずや 希望の揺籃地

二、江月さえて 悠久の
流れは 速し 千歳川
高き 彼岸の 光明を
見ずや 試練の理想郷

三、修羅道の世を 救うべく
平和の 偉業 任として
築く 不朽の 真善美
見ずや 我等の大使命



初代校長 板垣 政参 先生胸像

カリキュラム

授業内容



学習習慣の確立と、自主的で自立的な生活態度の確立

教師と生徒、また生徒どうしの信頼関係を築きながら、学校・自宅や寮での学習パターンに転換していきます。学校での授業を中心に、自ら意欲的に学ぶ姿勢を確立し、さらに自主的かつ自立的な生活態度まで確立。本校では、中学の教科課程はこの2年間でほぼ終了します。

基礎学力の定着と志望進路の確立

これまでの学習の成果を基礎として高校課程の学習を進め、勉学への基本的態度や基礎学力の定着と学力の確実な向上に努めます。また、総合学習の一環で実施する「進路講座」が、各分野の第一線で活躍する本校卒業生を講師として実施され、志望の確立と進路の選択に役立ちます。

実力の養成と志望の実現

高2からは、生徒の志望に応じた文系・理系の学級編成とし、文系は地歴、理系は数学・理科などの内容を深めていきます。高3の6月までに、教科書の内容をほぼ終わらせた後は、大学入試に対応した実践的な授業を展開。生徒の志望する大学への道を確実にしていきます。

学年・教科

注1) 平日の7時限目や土曜日に実施する授業時間数を含んでいます。
注2) 高校2年より、志望別(文系・理系)のクラス編成になります。

教科等	学年		
	中1	中2	中3
国語	5	5	5
社会	3	4	4
数学	5	5	5
理科	4	3	4
保健体育	3	3	3
音楽			
美術	4	4	3
技家			
英語	6	6	6
道徳	1	1	1
総合学習	2	2	2
学級活動	1	1	1
英数テスト	1	1	1
合計	35	35	35

教科等	学年				
	高1	高2		高3	
		文系	理系	文系	理系
国語	5	5	5	8	5
地歴	4	6	2	8	3
公民	—	2	2	—	
数学	5	5	5	5	7
理科	6	2	6	2	8
保健体育	4	3	3	2	2
音楽					
美術	2	—	—	—	—
書道					
英語	5	6	6	7	7
家庭	2	—	—	—	—
情報	—	2	2	—	—
総合学習	1	2	2	—	—
HR活動	1	1	1	1	1
数学テスト	—	1	1	1	1
合計	35	35	35	34	34

時制表

平日時制	
SHR	8:40-8:50
1	8:55-9:45
2	9:55-10:45
3	10:55-11:45
休み	11:45-12:05
4	12:05-12:55
休み	12:55-13:35
5	13:35-14:25
6	14:35-15:25
7	15:35-16:25
SHR	16:30-16:45
6時限帰りのSHR 15:30-15:45	
土曜時制	
SHR	8:40-8:50
1	8:55-9:45
2	9:55-10:45
3	10:55-11:45
4	11:55-12:45
SHR	12:50-13:05

※SHRはショートホームルームの略

夏休み作品展 卒業論文・制作

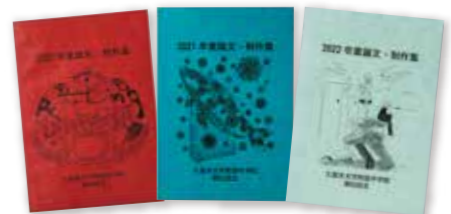
中学1年、2年
中学3年

中学では、6ヶ年一貫教育の長所を生かし、中1、中2では夏休みに発展的な課題や自由研究、中3では中学生活の集大成として卒業論文・制作に取り組んでいます。これは、長期休暇などを利用し、調査・実験を重ね、それらをまとめ上げることや、創造的な芸術作品を制作することを通じて、自主学習の楽しさや学問・芸術の奥深さなどを体験することで、人間的にも大きな成長を遂げることを目的としているものです。

完成した作品は、校内にて各部門ごとに審査し、表彰式や展示会などを開催しています。なお、卒業論文・制作については、中学卒業時に成果を冊子として取りまとめ、中1から中3までの全員に配付しています。



受賞者へのメダル



卒業論文・制作集

■卒業論文・制作 受賞作品一覧

年度	学長賞	理事長賞	校長賞	板垣賞	小野寺賞
平成30年度	大分県の再生可能エネルギーの現状と今後	アクリル画「窓辺」	橋の研究 ～最も丈夫な構造～	曾祖父・松本広吉と武者小路実篤・新しき村	小説「一球をつなげ!」
令和元年度	醤油醸造と音楽の関わり 振動を付与すると酵母・乳酸菌・ 麹菌の活動は活発になるのか	日本の英語教育と自動翻訳の活用	日光の三猿を作る ～日光東照宮の色彩に学ぶ～	旧街道と現主要交通から見る筑紫野市の発展	熊本地震 ～熊本城の存在意義を考え、 チャンスに捉える試み～
令和2年度	久留米市のバイオテクノロジーの 利用と地域創成のあり方 ～分野をまたいだ企業間の交流促進～	小説「雲晴るる山の上で」	フタホシコオロギの最適飼育方法について	弓の道、書の道 ～弓道における心構えを 書道で表現する～	アクリル画 ～飛行機の窓から～
令和3年度	戦争記憶の継承方法の 今とこれからについて ～平和資料館と戦争遺跡及び戦争語り継ぐ団体を訪ねて～	折り紙による折り畳みの可能性 ～あなたの知らない折り畳み傘～	久留米市を通して見る ハザードマップと水害対策	さげもん ～願いを込めたつるし飾り～	片影 ～かたかけ～
令和4年度	宇部市中山間部の持続可能な過疎化対策について ～私の故郷、小野地区の未来の為にできること～	ピクトグラムを画像認識する Webアプリケーションの作成	小説「ライラックの花は咲いた」	屏風に描く龍 ～双龍図～	戦争と震災を乗り越えてきた熊本城 ～一人々が残し続けてきた理由とは～

受賞生徒コメント

学長賞

高校1年生 古賀 春香

「宇部市中山間部の持続可能な過疎化対策について」
～私の故郷、小野地区の未来の為にできること～



中学三年間の学びの集大成として卒業論文制作に取り組み、栄誉ある賞をいただける事を大変嬉しく思います。附設中学校での日々の授業による教えが卒業論文のテーマ決定から制作に至るまでの礎となり、また卒業論文を制作することで自ら考え行動する力が培われたことを実感しています。この経験を活かしこれからも探求心を持ち続けていきたいと思っています。

理事長賞

高校1年生 鈴木 裕悟

「ピクトグラムを画像認識するWebアプリケーションの作成」



AIが色々な能力に取って代わる時代、附設中学校にはこれからの時代に必要となる創造性を育てていただき、さらにそれを発揮する機会を与えていただいたことに感謝しています。先生方は言うまでもなく、生徒も個性豊かで素晴らしく、毎日充実した生活を送っています。これからもこの経験を活かしさらに成長していきたいと考えています。

進路

志望実現の過程で、適切な助言と支援を展開

本校では全員が大学進学を志望し、東京大学や九州大学医学部をはじめとする難関大学に毎年多数の卒業生が進学しています。これは生徒自身の恵まれた素質と、中高一貫における独自のカリキュラムによって実現したものであるでしょう。

本校は「誠意」「立志」「克己」を目標として掲げ、高い志を抱く学友と楽しく切磋琢磨することによる理想的な成長を目指しています。その過程での進路の選択や志望の確立のために、最適な機会に最適な各種情報を提供。その例として、卒業生のレポートをまとめた「志望の確立」、大学入試の結果をまとめた「進学ガイド」、合格者が後輩のために綴った「合格体験記」などがあります。また、総合学習の一環として「進路講座」の時間を設置し、本校卒業生が絶えざる変革を続ける大学・学問・研究の実績や、さまざまな職業の世界について熱く語ってくれます。大学入学後や社会人になってからも、本校の先輩たちとの親交が深められるのは、ひとえに中高一貫教育の賜物です。

また、本校独自の個別指導が展開され、成績資料は綿密に分析・検討されています。学年や教科ごとの検討はもちろん



▲進路の選択や志望の確立のために提供されている資料の一例（左から）「進学ガイド」、「合格体験記」、「志望の確立」。

ん、校長・全職員が参加しての検討会では、長年蓄積した独自の資料に基づいて、真剣な議論が行われた上で生徒一人ひとりに対して柔軟で、適切な指導・助言を行っています。

生徒個人だけでなく、教職員が相互に活力を伸ばし合いながら、日々研鑽を積んでいます。そして、生徒の志望が達成できるために、本人と家族、そして教員が一体となって最善の努力をしています。

【進路講座】



高校3年特別講座・校内模試

「特別講座」(高3・放課後開設—実戦演習—)

高3の生徒は志望校に応じ、「特別講座」を選択受講します。「特別講座」は、それぞれの大学の入試問題をもとにした演習授業であり、詳細な解説によって志望校受験に適した実力の養成と定着が図られています。

「校内模試」(高3・年4回実施—進路指導の柱—)

各教科の教員「全員」が、大学入試問題の分析・研究の上で作問・出題し、さらに、「全員」で、毎回成績検討会を行っています。長年の蓄積もあり、検討結果は、生徒一人一人の志望校の可否の推定に極めて有効です。卒業生(浪人生)も受験しています。作問・出題は、教員の「教科力」を高めており、授業内容の改善の形で全校の「授業」にフィードバックもされています。

(なお、高3の生徒全員には、過年度の「校内模試問題集」2年分を配布しています。)

■令和5年度 高校3年 特別講座 放課後、希望者に実施します

曜日	対象	講座名	
月	理系	東大数学 標準(医)数学	
	文系	東大数学	
火	理系	東大化学 京大化学 九大化学	
	文系	東大現代文	
水	理系	東大古文 東大漢文 数Ⅲ基礎	
	文系	東大世界史	
木	共通	東大英語 京大英語 九大英語 標準英語	
		理系	医学部英語
		理系	東大(上級)物理 九大(標準)物理 難関生物
	文系	東大日本史 二次地理	
土	共通	数学テスト会 京大現代文	
	理系	東大現代文	

生徒会コメント

十人十色の個性を尊重し合いながら充実した学校生活を送っています。



中学校 生徒会長 猪飼 絵来

附設には九州内外に住んでいる沢山の生徒が在籍しています。附設生は十人十色ですが、互いに認め合いながら、学校生活を送っています。また、将来に向けた勉強だけでなく、様々な行事を生徒が一致団結しながら作り上げるという貴重な経験を通して、団結力も養うことができます。部活動では年齢の垣根を超えて助け合い、充実した時間を過ごしています。個性を認め合い、尊重しながら団結できる学校が附設だと考えています。

学業に、学校生活に、朋友と刺激的かつ創造的な日々を重ねています。



高等学校 生徒会長 杉本 青唯

附設では、広域から集まった優秀な生徒たちが、洗練された熱血教育のもとで学業の頂を目指しています。将来の夢に向かい、朋友と鎬を削る生活は刺激的です。しかし、附設の本質は「学業以外の特技の追求」にもあります。生徒主体の学校行事や部活、あるいは独自の活動や研究を通して、豊かな経験・感性を培っています。「オモシロい人間」を目指し、互いの個性を尊重しつつ切磋琢磨する日々は、創造的です。附設の独特な文化に染まって、素晴らしい体験を試みませんか。

大学合格実績

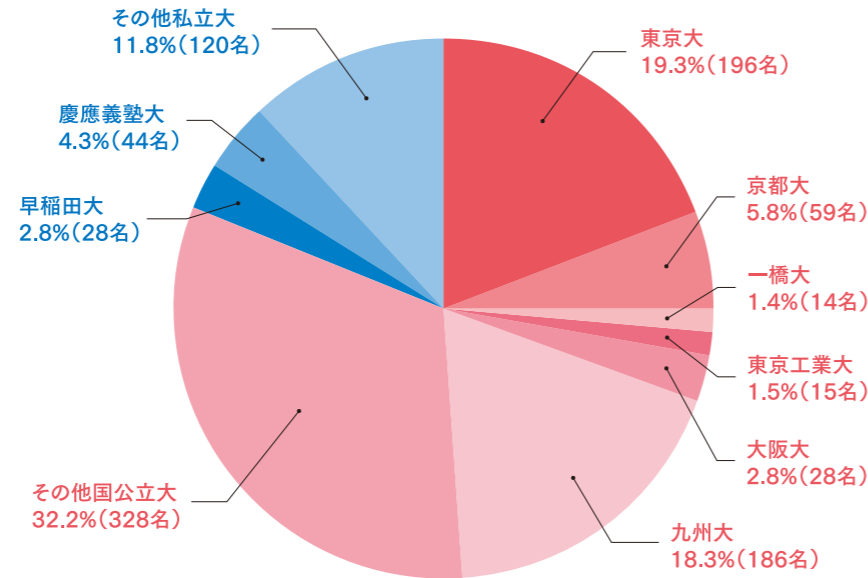
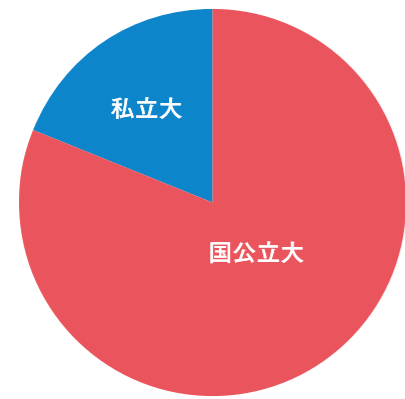
毎年、東京大学をはじめ、多くの国立大学・難関私立大学へ進学している実績があります。

[2022年度・2023年度実績]

進路状況 過去5年間(2019年~2023年)

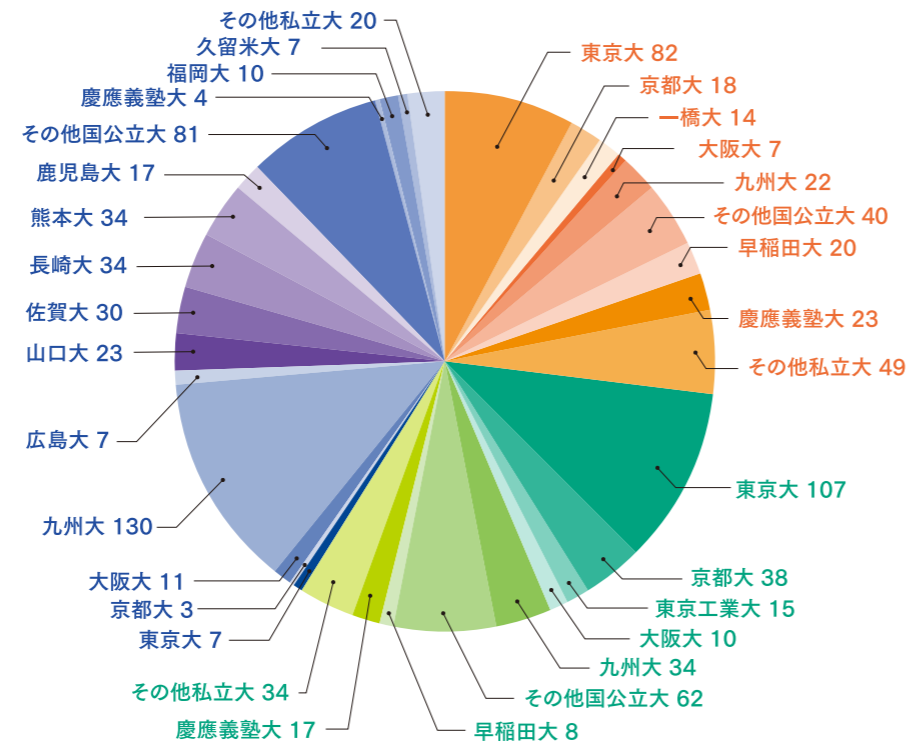
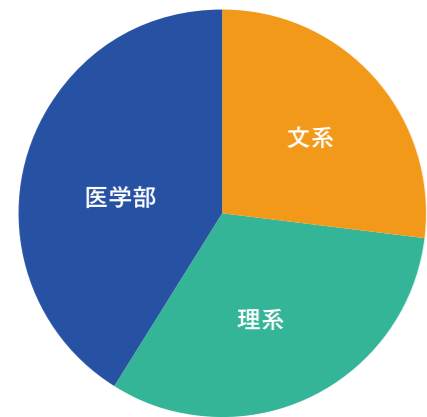
進学先大学別内訳

● 国公立大 826名
● 私立大 192名



文・理・医別進学者数

● 文系 275名
● 理系 325名
● 医学部 418名



国公立大学					
2022年度			2023年度		
東京	文 I	6	東京	文 I	4
	文 II	10		文 II	5
	文 III	8		文 III	2
	理 I	11		理 I	20
	理 II	4		理 II	6
	理 III	4		理 III	0
東京計	43	東京計	37		
九州	37	九州	45		
京都	17	熊本	13		
佐賀	10	京都	11		
熊本	7	佐賀	7		
山口	6	長崎	6		
大阪	4	一橋	5		
鹿児島	3	東京工業	4		
その他	51	その他	57		
小計	135	小計	148		
合計	178	合計	185		

※国公立大学その他に、大学校、自治医科大学、産業医科大学を含む。

医学部			
2022年度		2023年度	
九州	24	九州	29
佐賀	9	熊本	10
熊本	7	佐賀	6
山口	5	長崎	4
東京	4	鹿児島	4
鹿児島	3	京都	2
長崎	2	広島	2
京都	1	名古屋	1
大阪	1	大阪	1
その他	13	その他	16
国公立計	69	国公立計	75
久留米	7	久留米	9
福岡	7	慶應義塾	3
慶應義塾	1	順天堂	3
その他	15	その他	11
私立計	30	私立計	26
防衛医科	6	防衛医科	9
合計	105	合計	110

※国公立大学その他に、自治医科大学、産業医科大学を含む。

私立大学			
2022年度		2023年度	
慶應義塾	30	早稲田	32
早稲田	29	明治	27
明治	19	慶應義塾	25
同志社	16	中央	25
中央	13	同志社	18
福岡	12	上智	15
立命館	11	東京理科	13
東京理科	10	法政	10
久留米	7	久留米	9
その他	76	その他	62
合計	223	合計	236

2023年度の受験とこれからの展望

進路指導部長 行正幸司

コロナ禍の受験をふりかえって

東京大学合格者数(2023年度) 37名 うち32名が現役合格

現役卒業生は、高1のスタートに「緊急事態宣言」による休校があり、6月になってやっと入学式を迎えた世代でした。高校2年の年度末に予定されていた修学旅行も準備を進めたものの直前に中止を余儀なくされ、何かと高校生活において行動が制約された学年でした。中でも生徒一人ひとり、うまく心の整理をしつつ、受験勉強へと重心を移動していったと思います。課題であった英語力の弱さも高校2年のときに急成長を見せ、他教科へ演習の時間をまわせたこともあり、理系を中心に高校3年時には各種の模試でも良い成績を出すようになりました。実際、共通テスト・2次試験ともに好結果を残してくれました。中でも東京大学には現浪合わせて37名が合格し、そのうち32名が現役での合格と立派な結果を出してくれました。特に理科一類に現役で20名合格、というのは附設の歴史の中でも新記録です。

「現役合格率」は全国1位!

現役合格者数(国公立医学部医学科) 43名(2023年度)

今年の国公立医学部医学科(産業医科を除く)合格者数は現浪合わせて69名。これは全国3位の数字です。そのうち現役合格者数は43名となっており、「現役合格率」では全国1位となりました。20%を超えたのは全国の高校の中で附設だけ、という快挙です。近年、附設では現役での医学部合格者数が増加しています。これは、2013年に中学を男女共学化し、入学時から医学部を志望する女子が増えてきたことが一つの要因だと感じています。ただ現役高3(71回生)は、上記のように理系の中でも東大などの志望者も多く、特に医学部志望にかたよってはいない学年でしたが、それでもこの結果を残してくれました。志望学部に関係なく、一緒に頑張るという雰囲気が醸成された効果が大きかったのだらうと感じています。

今後に向けて

高2までは日々の学習を年間5回の定期テストで確認しますが、高3と浪人生希望者は年4回の校内模試を受けます。個別の大学入試に対応した記述形式の模擬試験で、平均点は約4割。5回平均で5割以上だと、東京大学、京都大学、九州大学医学部などの難関大学に、東大理系以外は、4割5分以上であれば合格できます。問題作成と採点には、本校入試同様、ほぼ全教員が参加し、成績検討会にも出席します。直接高3の授業を担当してなくても、問題作成と採点を通じて毎年受験生と関わりを持つことになります。自分が担当する学年が高3になったときに、この校内模試に対応できる実力がついているよう、高2以下の生徒の学習指導に活かしていきます。

現役高3(71回生)は、国語科の学年主任を中心に、英数国理社の担任団が生徒・保護者と綿密にコミュニケーションを取りながら、コロナ禍の高校生活を支えてきました。もともと国語力の高さも相まって、多くの生徒を希望する大学へ導きました。一方、成績開示を見ると、あと数点足りずに不合格という生徒もおり、受験の厳しさも同時に知りました。これからも、授業と特講で真剣に学び、校内模試で現浪が切磋琢磨して実力をつけてほしいと願い、全力で指導に取り組む覚悟です。

学校生活

	中学校	高等学校
4月	<ul style="list-style-type: none"> ● 1学期始業式 ● 入学式 ● 入寮式 ● オリエンテーション(1年) ● 歓迎行事 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1学期始業式 ● 入学式 ● 入寮式 ● 学校祭
5月	<ul style="list-style-type: none"> ● 防災避難訓練 ● 第1回定期テスト ● 健康診断 	<ul style="list-style-type: none"> ● 防災避難訓練 ● 第1回定期テスト ● 健康診断
6月	<ul style="list-style-type: none"> ● 後援会総会・保護者会 ● 保護者面談 	<ul style="list-style-type: none"> ● 後援会総会・保護者会 ● 保護者面談(1・2年) ● 第1回校内模試(3年)
7月	<ul style="list-style-type: none"> ● 中体連大会 ● 第2回定期テスト ● 終業式 	<ul style="list-style-type: none"> ● 保護者面談(3年) ● 第2回定期テスト ● 終業式 ● 課外授業
8月	<ul style="list-style-type: none"> ● 補習授業 	<ul style="list-style-type: none"> ● 課外授業 ● 第2回校内模試(3年)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ● 2学期始業式 ● 体育大会 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2学期始業式 ● 体育祭
10月	<ul style="list-style-type: none"> ● 中体連新人大会 ● 第1回進路講座(3年) ● 第3回定期テスト ● 夏休み作品展 	<ul style="list-style-type: none"> ● 第1回進路講座(1年) ● 第3回定期テスト(1・2年) ● 第3回校内模試(3年)
11月	<ul style="list-style-type: none"> ● 校外学習(1年) ● 校外学習(2年) ● 修学旅行(3年) ● 第2回進路講座(3年) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 第2回進路講座(1年) ● 芸術週間
12月	<ul style="list-style-type: none"> ● 第4回定期テスト ● 終業式 	<ul style="list-style-type: none"> ● 第4回定期テスト(1・2年) ● 終業式 ● 高3激励会 ● 第4回校内模試(3年)
1月	<ul style="list-style-type: none"> ● 3学期始業式 	<ul style="list-style-type: none"> ● 3学期始業式
2月	<ul style="list-style-type: none"> ● 卒業論文表彰式・発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ● スキー訓練(2年)
3月	<ul style="list-style-type: none"> ● 第5回定期テスト ● 送別行事 ● 修了式 ● 卒業式 	<ul style="list-style-type: none"> ● 第5回定期テスト ● 卒業式 ● 修了式



▲中学校・高等学校 入学式



▲高等学校 学校祭



▲高等学校 体育祭 ▲中学校 中体連大会



▲中学校 修学旅行



▲高等学校 芸術週間 ▲中学校 卒業論文展示



▲高等学校 スキー訓練



▲高等学校 卒業式

学校祭「男く祭」



本校の文化祭は例年4月末に二日間にわたって開催されます。53回目となった今回の文化祭では、コロナ禍によるこれまでのような制限が大幅に緩和され、4年振りに一般公開が可能になりバザーの調理も再び解禁されました。附設の文化祭は、伝統を継承しつつも自分たちのもつ文化を表現し、共有する場です。常に新たなものを創造し続けることで文化祭は発展してきました。そしてこれからの附設生の手でさらに進化を続けるでしょう。また、生徒が考え、行動して自らの手で祭を創り上げることは普段はなかなか経験できないことであり、我々附設生にとってかけがえのないものとなっています。附設の文化祭には附設でしか味わえない魅力がたくさん詰まっています。



高校文化委員長 市川 直太朗

部活動

個性溢れる部活動

授業が終わった後は、多くの生徒たちが個性溢れる部活動へ参加。体育部・文化部ともに地区大会や県大会などの各種大会で活躍しており、さらには全国大会に出場し優秀な成績を取った部もあります。平日は午後6時が下校時間となっており、放課後の短時間で密度の高い、効率的な練習や研究活動を重ね、充実した時間を過ごしています。



中学校	高等学校
<p>[体育部]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● テニス部 ● バスケット部 ● バレー部 ● サッカー部 ● 卓球同好会 ● 女子バドミントン同好会 <p>[文化部]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 化学部 ● 地理研究部 ● 美術部 ● 囲碁・将棋部 ● ディベート部 ● 百人一首部 	<ul style="list-style-type: none"> ● 剣道部 ● 柔道部 ● 陸上競技部 ● バスケット部 ● サッカー部 ● 軟式野球部 ● 卓球部 ● アウトドア部 ● 女子バドミントン同好会 <p>[文化部]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 演劇部 ● 美術部 ● ESS部 ● 合唱部 ● 天文部 ● 化学部 ● レゴ部 ● プログラミング同好会 ● クイズ・ディベート部

制服

冬服については、男子は中学校・高等学校ともに詰襟、女子は中学がセラー型ジャケット、高等学校がブレザー型ジャケットです。女子はパンツスタイルも選べます。(高等学校のみネクタイ・リボンも選択可)襟章として校章や学年章(中学校のみ)を付け、附設生としての自覚を持ち、凛とした姿勢で学校生活を送ります。



感性・創造性の涵養



芸術総合選択等の
作品はこちらの
フォトギャラリーから

優れた学力とともに、資質を磨き
表現力を育む多様な教育を実践

芸術総合選択

本校では、豊かな心や創造性の涵養をはかるため、芸術教育にも力を注いでいます。中1で音楽、美術を週1時間ずつ履修した上で、中2、中3では週3時間、高1では週2時間、芸術総合選択の授業を必ず履修します。

芸術総合選択は、現在、「声楽」、「器楽」、「絵画」、「美術工芸」、「陶芸」、「書道」、「映像メディア表現」の7講座があり、生徒たちはそれぞれ好きな講座を選択し、一つのことにじっくりと時間をかけて取り組みます。（高校から入学した生徒は、1年次に週2時間「美術」「書道」「器楽」「声楽」の4つから選択して履修します。）

少人数で同じ講座を履修する生徒同士では、一つのことを共に取り組む中で切磋琢磨し深め合う関係性を築くことができます。一方で、芸術週間、芸術発表会などの学校行事では、他の

講座を履修した同級生たちの多様な表現に触れる機会もあります。「一道万芸に通ず」という言葉が示すように、一つのことを深く掘り下げる経験を通して、他のことについてもそこに至る努力の道筋や深さを理解できる眼力=鑑賞力やコミュニケーション能力が、自ずと養われていきます。

なお、高校文化祭においては、芸術総合選択でそれぞれ異なる特技、特性を培ったもの同士が、お互いを尊重して協力し合い、自主的に一つのイベントを計画し実現させるというプロセスが、随所で見うけられます。

「芸術総合選択」を軸とする本校の芸術教育は、生徒たちが将来、豊かな文化を創造し、活力ある社会を築いていくリーダーとなるべく、その資質を磨いていくことをねらいとしています。

美術工芸

私は立体物を創作するのが大好きで美術工芸を選択しました。美術工芸ではいろいろな技法を片っ端から体験できます。実際に鳥獣戯画制作をした際に、あんなのあったなあと模索するうちにマイベスト製法を編み出し、『真っ向勝負』が完成しました。



高校2年生 太田 彩月 「真っ向勝負」



高校3年生 三井 麻生 「弓の道、書の道」

書道

芸術選択の授業を通して、ただ美しく書くだけではない、表現としての書道の楽しさを実感でき、卒業制作で書道を選ぶきっかけにもなりました。学校生活の中で、3年間を通して自分の選んだ一つの芸術に打ち込めたことは、とても貴重な経験でした。

各科目紹介

絵画

授業では絵画の知識や描き方をはじめ護身術から理想の生き方に至るまで大変興味深い話をお聞きすることができ、それらは今では私の人生の指針となっています。この絵は私が高一のとき最後に描いたものです。芸術はその時の自分を目に見える形ですっきりと残してくれます。ぜひ自分だけの芸術を究めてください。



令和4年度卒業生 金澤 知大
「Venezia 2018」



高校3年生 田上 裕樹 「粉引掻き落とし扇面平鉢」

陶芸

陶芸では、食器、花瓶など、日常を彩る作品を自由に作ります。材料は粘土と、陶芸専用の絵の具だけ。普段は使わない材料だけに、自分の思い通りの仕上がりにならないこともよくあります。しかし、その失敗を通し陶芸の世界の奥深さに感動し、感性が研ぎ澄まされていきます。想像力豊かな仲間らと共に作品を作る時間は、至福のひと時です。



高校2年生 木村 天音 (左中央)



高校3年生 森 捷人

声楽

声楽では、J-POPからイタリア語のオペラまで様々な楽曲に多様な歌唱形態に触れ、プロの声楽家の先生による本格的なご指導のもと、着実に歌唱力が身につきます。実際、声楽の授業をきっかけに歌うことの楽しさに目覚める生徒は数多くいます。私もその一人で、合唱部に入学し、今日もまた聴く人の魂の琴線に触れる音楽を生み出さんと研鑽を積んでいます。

器楽

器楽では、ピアノやヴァイオリンなどの楽器を用いた授業を行います。自分の弾きたい曲を自由に弾くことができ、演奏後、先生からその曲の形式や作られた背景、当時の社会状況などを教わります。私は昔、ピアノを何も考えずにただ弾いていただけだったのですが、先生のご教示により、曲に込められた心情や雰囲気を理解でき、より楽しむことができました。



映像メディア表現

令和4年度より、タブレット端末を用いてデジタル作品を制作する「映像メディア表現」を新たに開講しました。写真や動画の撮影方法、動画編集アプリの扱い方などを学んだ上で、実際に映像作品を制作します。ソサエティ5.0の到来に向けて、感受性の鋭い中高生のうちから、無限の可能性を秘めた情報技術に親しみ、豊かな表現力を磨くことをねらいとしています。

寮生活・校納金

扶桑学寮(男子寮) ※寮玄関から校舎出入口まで「徒歩30秒」。屋根のある渡り廊下で直通。

学生寮の詳細はこちらの学生寮紹介から



人間的学びを深める学生寮を完備

本校の寄宿舎は「扶桑学寮」と呼ばれ、集団生活を通じて、豊かな教養と高い人格を育成することが目的です。運営は、本校教諭を兼ねる教務舎監と寮生指導の専任舎監および管理人夫妻などが当たります。

[寮施設] 鉄筋コンクリート建(冷暖房完備)



寮生(高校生一人部屋)



中学寮内部(4人部屋)



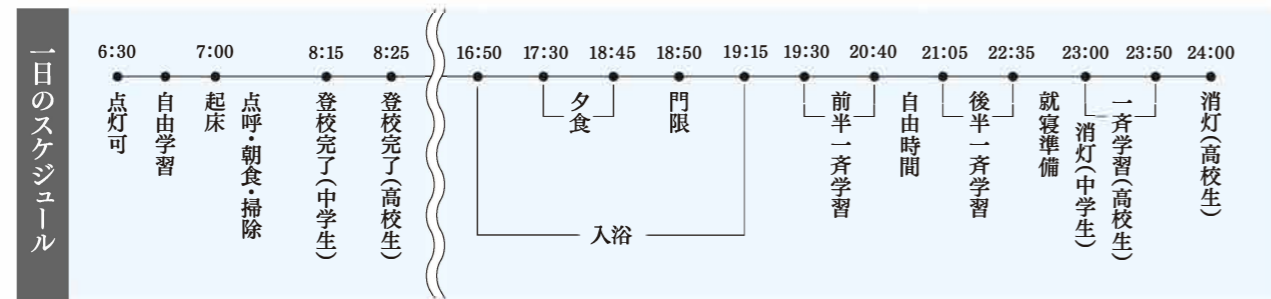
高校寮内部(2人部屋)

寮生出身地別人数(令和5年4月末日現在)

	中1	中2	中3	高1	高2	高3	合計
県内	17	9	17	31	22	26	122
県外	15	9	8	12	15	20	79
合計	32	18	25	43	37	46	201

附設生としての毎日に、一層の充実感を与えてくれる寮生活。 高校3年生 浦松 巧

寮は学校との距離が近いので、登下校がとても楽です。その分、部活動や勉強に専念することができます。また寮生は食事や風呂を共にするので、絆が深まります。クラスの違う生徒と仲良くなることも多いです。他にも、洗濯を寮スタッフの方にやっていただけるなどの利点が寮にはあります。



初年度校納金一覧 ※下記金額は令和5年度の金額です。変更する場合があります。(単位:円)

名称		中学校	高等学校	備考	
入学時納入金	入学金	100,000	100,000	入学手続の際納入	
	施設設備資金	200,000	200,000	4月入学の際納入	
学費	授業料	34,000	35,000	月額	
	施設設備維持費	15,700	15,700		
	実験実習料	200	200		
	保健衛生費	100	100		
	スポーツ振興センター掛金	550	1,930		
諸会費	生徒会費	4,800	—	年1回(4月)	
	校友会費	—	4,800		
	後援会費	2,200	2,200		月額
	同窓会費	—	4,000		4月入学の際納入
寮納入金	入舎料	30,000	30,000	入寮手続の際納入	
	管理運営料(4人部屋)	28,000	—	月額	
	管理運営料(1人部屋)	—	36,000		
	食費(3食付き)	36,400	36,720		

本校の特典

◎ 大学病院・医療センター受診時の医療費還付

関連施設である大学病院・医療センターを受診した場合、後日所定の手続きを行うことで医療費の還付を受けることができます。

※詳細については「入学説明会」で資料等を配布いたします。

本校の特徴

◎ 心身の相談

学校生活の中で発生するストレスや悩みに対して、スクールカウンセラー(臨床心理士)によるカウンセリングを受けることができます。

環境・アクセス

施設

静かで緑に囲まれた充実の校内環境

広い敷地内には、中学校と高等学校の校舎の他、体育館・食堂や陶芸教室棟などがあります。また、中学寮と高校寮(男子)もあるので、遠方の生徒にも充実した学びの環境を与えられます。



①正門 ②校舎東棟 ③校舎西棟 ④1号館 ⑤第1グラウンド ⑥第2グラウンド ⑦高校寮 ⑧中学寮 ⑨陶芸教室棟



● 図書館

貴重な書籍の所蔵のみではなく、自学自習を行う生徒に対して最適な空間の提供を行っています。



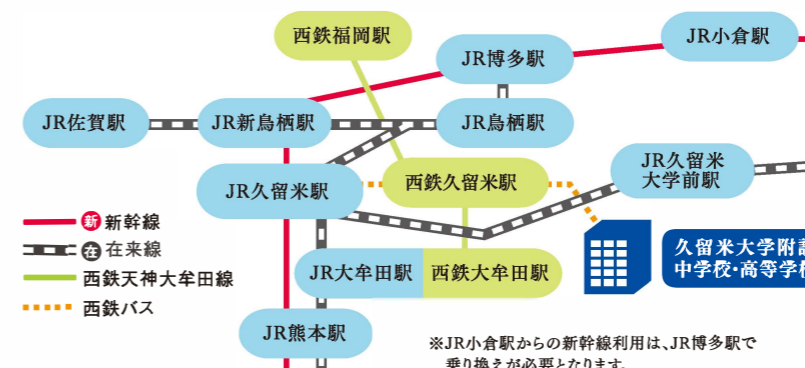
● 体育館(2F)

● 食堂(1F)

周辺地図・交通機関案内



本校までの交通機関



各地から久留米市までの所要時間(目安)

福岡から	新幹線	17分
	JR鹿児島本線	35分
	西鉄天神大牟田線	32分
小倉から	JR鹿児島本線	2時間
	新幹線	40分
熊本から	JR鹿児島本線	1時間30分
	新幹線	30分
佐賀から	JR長崎本線	40分
長崎から	JR長崎本線	1時間50分
大分から	JR久大本線	2時間30分
	日豊本線・新幹線	2時間
鹿児島から	新幹線	1時間15分